



CHAPTER 51

時間帯の設定

時間帯を追加、更新、コピー、または削除するには、次のトピックを参照してください。

- 「[時間帯の設定値](#)」(P.51-1)
- 「[時間帯の検索](#)」(P.51-3)
- 「[時間帯の設定](#)」(P.51-5)
- 「[時間帯の削除](#)」(P.51-5)
- 「[関連項目](#)」(P.51-6)

時間帯の設定値

時間帯は、開始時刻と終了時刻によって定義される時間範囲で構成されます。また、週の曜日や毎年の特定期日のいずれの繰り返し間隔も指定できます。時間帯を定義した後、時間帯をタイム スケジュールに関連付けます。特定の時間帯を複数のタイム スケジュールに関連付けることができます。

次に、time-of-day コール ルーティングをセットアップするパーティションにタイム スケジュールを関連付けます。時間帯とタイム スケジュールの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「[Time-of-Day ルーティング](#)」を参照してください。

表 51-1 では、時間帯の設定値について説明します。関連する手順については、「[関連項目](#)」(P.51-6)を参照してください。

表 51-1 時間帯の設定値

フィールド	説明
[時間帯情報 (Time Period Information)]	
[名前 (Name)]	<p>[名前 (Name)] フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-) およびアンダースコア (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各時間帯名が、そのプランに固有の名前であることを確認してください。</p> <p>(注) 時間帯には、内容を表す簡潔な名前を使用してください。通常、hours_or_days の形式が、内容を簡潔に表し、時間帯をすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「office_M_to_F」は、オフィスでの月曜日から金曜日の業務時間の時間帯を示します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager には、[常に (All the time)] という時間帯が用意されています。この特殊なシステム時間帯は 24 時間に相当し、エンド ユーザに公開されています。この時間帯の削除はできませんが、コピーは可能です。</p>
[説明 (Description)]	この時間帯の説明を入力します。
[開始時刻 (Time Of Day Start)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、この時間帯が開始する時刻を選択します。リストされている使用可能な開始時刻は、24 時間の 15 分間隔で構成されています。</p> <p>デフォルト値は [就業時間なし (No Office Hours)] です。</p> <p>(注) 深夜に時間帯を開始するには、00:00:00 値を選択します。</p>
[終了時刻 (Time of Day End)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、この時間帯が終了する時刻を選択します。リストされている使用可能な終了時刻は、24 時間の 15 分間隔で構成されています。</p> <p>デフォルト値は [就業時間なし (No Office Hours)] です。</p> <p>(注) [終了時刻 (Time of Day End)] には、[開始時刻 (Time Of Day Start)] で選択する時刻よりも遅い時刻を選択する必要があります。</p> <p>(注) 深夜に時間帯を終了するには、24:00 値を選択します。</p>

表 51-1 時間帯の設定値（続き）

フィールド	説明
[繰り返し設定 (Repeat Every)]	<p>次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> [毎週 (Week from)] : [毎週 (Week from)] オプション ボタンをクリックする場合は、[毎週 (Week from)] および [から (through)] の横にあるドロップダウン リスト ボックスを使用して、この時間帯を適用する曜日を選択します。 <p>例：月曜日から金曜日に適用する時間帯を定義するには、[毎週 (Week from)] の値に [月 (曜日) (Mon)]、[から (through)] の値に [金 (曜日) (Fri)] を選択します。</p> <p>土曜日だけに適用する時間帯を定義するには、[毎週 (Week from)] の値に [土 (曜日) (Sat)]、[から (through)] の値に [土 (曜日) (Sat)] を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [毎年 (Year on)] : [毎年 (Year on)] オプション ボタンをクリックする場合は、[毎年 (Year on)] と [終了日時 (until)] の横にあるドロップダウン リスト ボックスを使用して、1 年のうちでこの時間帯を適用する月と日を選択します。 <p>例：この時間帯を適用する日として 1 月 15 日から 3 月 15 日を選択するには、[毎年 (Year on)] の値に [1 月 (Jan)] と [15]、[終了日時 (until)] の値に [3 月 (Mar)] と [15] を選択します。</p> <p>この時間帯を適用する日として 1 月 1 日だけを指定するには、[毎年 (Year on)] の値に [1 月 (Jan)] と [1]、[終了日時 (until)] の値に [1 月 (Jan)] と [1] を選択します。</p>
[繰り返しをクリア (Clear Repeat)]	このボタンをクリックすると、変更中の時間帯から、[繰り返し設定 (Repeat Every)] の選択値がクリアされます。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.51-6) を参照してください。

時間帯の検索

ネットワーク内にはいくつかの時間帯が存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager では、条件を指定して、特定の時間帯を見つけることができます。時間帯を特定する手順は、次のとおりです。

**(注)**

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザ セッションでの作業中は、時間帯の検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、時間帯の検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [時間帯 (Time Period)] の順に選択します。

[時間帯の検索と一覧表示 (Find and List Time Periods)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- ドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索 (Find)] をクリックします。

すべてのレコード、または一致したレコードが表示されます。[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.51-6) を参照してください。

時間帯の設定

時間帯を設定する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** メニューバーで [コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] の順に選択します。
- [時間帯の検索と一覧表示 (Find and List Time Periods)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 次の作業のいずれかを実行します。
- 既存の時間帯をコピーするには、対象となる時間帯を見つけます ([「時間帯の検索」\(P.51-3\)](#) を参照)。コピーする時間帯の横にある [コピー (Copy)] アイコンをクリックします。ウィンドウに、その時間帯のコピーが表示されます。[名前 (Name)] フィールドの値を変更し、[「ステップ 3」](#)に進みます。
 - 新しい時間帯を追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックし、[「ステップ 3」](#)に進みます。
 - 既存の時間帯を更新するには、対象となる時間帯を見つけて ([「時間帯の検索」\(P.51-3\)](#) を参照)、[「ステップ 3」](#)に進みます。
- ステップ 3** 適切な設定値を入力します ([表 51-1](#) を参照)。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
-

追加情報

[「関連項目」\(P.51-6\)](#) を参照してください。

時間帯の削除

時間帯を削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

タイム スケジュールが使用している時間帯は削除できません。時間帯を使用しているタイム スケジュールなどの項目を検索するには、[時間帯の設定 (Time Period Configuration)] ウィンドウにある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスから [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択します。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[「依存関係レコードへのアクセス」\(P.A-2\)](#) を参照してください。使用中の時間帯を削除しようとすると、Cisco Unified Communications Manager からエラー メッセージが表示されます。現在使用されている時間帯を削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除する時間帯を使用しているタイム スケジュールすべてに、別の時間帯を割り当てます。[「タイム スケジュールの設定」\(P.52-4\)](#) を参照してください。
- 削除する時間帯を使用しているタイム スケジュールを削除します。[「タイム スケジュールの削除」\(P.52-5\)](#) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** メニューバーで [コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除する時間帯を見つけます。「[時間帯の検索](#)」(P.51-3) を参照してください。
- ステップ 3** 削除する時間帯のチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- この操作を実行すると取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。
- ステップ 4** 時間帯を削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル (Cancel)] をクリックします。

**注意**

時間帯を削除するときは、削除する時間帯が正しいか慎重に確認してください。削除した時間帯を元に戻すことはできません。不用意に削除すると、削除した時間帯を作成し直す必要があります。



ヒント 時間帯の削除は、削除する時間帯を特定して表示し、[削除 (Delete)] をクリックすることによっても実行できます。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.51-6) を参照してください。

関連項目

- 「[時間帯の設定値](#)」(P.51-1)
- 「[時間帯の検索](#)」(P.51-3)
- 「[時間帯の設定](#)」(P.51-5)
- 「[時間帯の削除](#)」(P.51-5)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「[Time-of-Day ルーティング](#)」